

第 1 総務企画部

1 総務企画課

(1) 地域保健医療福祉の総合的な推進

1 厚生統計関係調査事業

国の厚生統計施策の基礎資料を得るとともに、保健・医療・福祉分野の施策を効果的・効率的に推進するため、各種統計調査を実施しました。

(1) 保健衛生統計調査

- ア 人口動態調査（毎月）
- イ 医療施設動態調査（毎月）
- ウ 病院報告（患者票：毎月、従事者票：10月）
- エ 衛生行政報告例（年度報：5月）
- オ 地域保健・健康増進報告（年度報：6月）

(2) 社会福祉統計調査

福祉行政報告例（月報、年度報）

(3) 公衆衛生資料等の整備

人口動態調査等の統計データを収集し、「図表で見る福島県相双地域の保健・医療・福祉の動向」を作成しました。

2 地域保健医療福祉推進事業

地域における保健・医療・福祉の連携を強化し、地域の実態に即した保健医療福祉施策を推進するため、相双地域保健医療福祉協議会を開催しました。

開催日：平成 25 年 10 月 25 日

開催場所：合同庁舎内 401 会議室

議 事：福島県相双地域保健医療福祉推進計画（案）について

■相双地域保健医療福祉協議会委員名簿（平成 25 年度）

| No | 区 分 | 関係機関（役職名） | 氏 名 |
|----|-----|---------------------|---------|
| 1 | 医療① | 相馬郡医師会長 | 樋 口 利 行 |
| 2 | ② | 双葉郡医師会長 | 堀 川 章 仁 |
| 3 | ③ | 双葉郡歯科医師会長 | 宮 嶋 清 憲 |
| 4 | ④ | 相馬薬剤師会長 | 佐 藤 悟 |
| 5 | ⑤ | 福島県看護協会相双支部長 | 堀 内 由 美 |
| 6 | 保健① | 相双地区食生活改善推進協議会長 | 渡 辺 純 子 |
| 7 | ② | 相馬市保健センター所長 | 岡和田 忠 一 |
| 8 | ③ | 南相馬市健康づくり課長 | 新 妻 良 司 |
| 9 | ④ | 広野町保健センター所長 | 根 本 茂 |
| 10 | 福祉① | 相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長 | 三 瓶 政 美 |

| | | | |
|----|---------|------------------|---------|
| 11 | ② | みなと保育園園長 | 和田 信 寿 |
| 12 | ③ | 福島県精神保健福祉協会相双支部長 | 金 森 良 |
| 13 | ④ | 南相馬市社会福祉協議会長 | 門 馬 秀 夫 |
| 14 | 一般 ① | NPO法人あさがお理事長 | 西 美 子 |
| 15 | ② | NPO法人はらまちクラブ理事長 | 江 本 節 子 |
| 16 | 行政① | 相馬地方広域市町村圏組合事務局長 | 菊 池 邦 啓 |
| 17 | ② | 双葉地方広域市町村圏組合事務局長 | 吉 田 信 也 |
| 18 | ③ | 県相双地方振興局長 | 石 本 健 |
| 19 | ④ | 県相双教育事務所長 | 佐 川 正 人 |
| 20 | ⑤ | 県浜児童相談所長 | 安 部 智 彦 |

3 福祉避難所の指定促進事業【全庁重点】

市町村における福祉避難所の指定を促進するため、市町村や関係団体等を対象とした、福祉避難所の必要性、指定方法、運営方法等に関する研修会に参画（本庁保健福祉総務課主催）するとともに、未指定市町村への技術的助言を行いました。

- (1) 福祉避難所の指定・運営に関する研修会（本庁保健福祉総務課主催）

開催日：平成 25 年 9 月 9 日

開催場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

- (2) 福祉避難所指定に係る市町村との打ち合わせ（本庁保健福祉総務課主催）

訪問数：6 市町村（4 月～7 月）

※ 福祉避難所指定済管内市町村数：5 町村（6 施設）H26. 3. 31 現在

4 出前講座【創意事業】

保健・衛生・福祉に関する正しい知識の普及啓発を図るため、地域住民、企業、学校等の希望に応じて、当所職員を講師として派遣する「出前講座」を実施しました。

■出前講座実績

| | 分野 | 講座名 | 内容 | 対象者 | 担当課 | 開催実績 (回数) |
|----|-----|---------------------|---|----------------------------|-------|--------------|
| 1 | 健康 | たばこに関する健康講座 | たばこの健康影響や受動喫煙の防止等についてお話しします。 | 一般住民 小中学生 事業所 | 健康増進課 | 0 |
| 2 | 健康 | お口の健康講座 (歯周病予防) | 食事などを楽しむための歯の健康を年齢や対象に応じた内容でお話しします。 | 一般住民 高校生 事業所 | 健康増進課 | 1 |
| 3 | 健康 | こころの健康講座 | 「こころ」の健康の大切さをわかりやすくお話しします。 | 事業所等 | 保健福祉課 | 2 |
| 4 | 医療 | キビチーちゃん血液講座 | 生命を維持するために欠くことのできない血液の基礎知識を学び、献血について考えよう。 | 一般住民 事業所 小中高校生 | 医療薬事課 | 0 |
| 5 | 医療 | 薬物乱用は 「ダメ。ゼッタイ。」 | 乱用されている薬物の心身への影響や薬物に関する正しい知識についてお話しします。 | 小中高生 専門学校生 一般住民 | 医療薬事課 | 5 |
| 6 | 医療 | 薬の正しい使い方 | 病院などで処方された薬や薬屋さんから買った薬の注意点等をお話しします。 | 一般住民 | 医療薬事課 | 2 |
| 7 | 医療 | 後発医薬品安心使用促進講座 | 後発医薬品（ジェネリック医薬品）を知り、その安心使用及び促進について考えてみましょう！ | 一般住民 | 医療薬事課 | 0 |
| 8 | 感染症 | 感染症予防講座 | インフルエンザ、感染性胃腸炎及び性感染症などについて、症状から予防策までわかりやすくお話しします。 | 一般住民 事業所 | 医療薬事課 | 2 |
| 9 | 感染症 | エイズ・性感染症のおはなし | エイズ等の感染予防や検査方法などをお話しします。 | 一般住民 事業所 小中高生 保護者 | 医療薬事課 | 1 |
| 10 | 感染症 | 結核ミニ講座 | 結核がなぜ、今増えているのか。早期発見、治療などについてお話しします。 | 一般住民 施設 事業所 | 医療薬事課 | 0 |
| 11 | 衛生 | 食品衛生教室 | 食中毒の原因からその予防まで、食品衛生のルールを知ろう！ | 一般住民 事業所 | 衛生推進課 | 5 |
| 12 | 衛生 | 住居に住みつく虫 | ゴキブリ等の生態、駆除方法をお話しします。 | 一般住民 小中高生 | 衛生推進課 | 1 |
| 合計 | | | | | | 19 |

(2) 人材の育成

1 地域保健福祉関係職員研修事業

適切な行政サービスを提供できるようにするため、地域保健福祉関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

本庁保健福祉総務課主催の新任研修を受講した管内・いわき市の職員を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

ア 相双管内

開催日：平成 25 年 11 月 26 日

開催場所：相双保健福祉事務所 大会議室

参加者：13 人（相馬市・南相馬市・相双保健福祉事務所職員）

内容：講義・演習

「面接技術の実践～円滑なコミュニケーションを目指して～」

イ いわき市

開催日：平成 25 年 12 月 6 日

開催場所：いわき市総合保健福祉センター

参加者：8 人

内容：講義・演習

「初回面接の進め方～現場で役立つ臨床心理学のエッセンス～」

(2) 保健医療福祉関係実習生の指導

保健・医療・福祉従事者養成機関の要請に応じて、当該学生に対する教育指導を行いました。

■実習生指導実績

| 養成機関 | 実習人員 (人) | 実習延日数 (日) | 実習期間 |
|-----------------------|-------------|--------------|-------------------------|
| 福島県立医科大学 看護学部 4 年生 | 3 | 1 | 5/17 |
| 2 年生 | 6 | 9 | 10/28～11/1 11/5～11/8 |
| 東北生活文化大学 | 2 | 5 | 9/2～9/6 |
| 仙台白百合女子大学 | 1 | | |
| 相馬看護専門学校 | 39 | 1 | 11/22 |
| 計 | 51 | 16 | |

(3) 医師臨床研修生の受入

医師法第 16 条の 2 第 1 項の規定に基づく臨床研修について、臨床研修受入医療機関の要請に応じて、地域保健・医療に関する研修を実施するものですが、H25 年度は受け入れ要請はありませんでした。

(4) 保健師現任教育の実施

福島県現任教育指針及びプログラムに基づき、組織全体で現任教育を支える環境を構築しました。

ア プリセプター所内会議

年4回（平成25年5月10日、6月5日、9月4日、平成26年3月12日）

イ 管内市町村保健師現任教育の支援

市町村巡回：3市町（相馬市・南相馬市・新地町）

担当者会議：年1回（平成26年3月18日）

ウ 研修会の開催

年3回（平成25年9月11日、9月18日、11月13日）

2 地域保健福祉活動推進研修事業【所重点】

効果的な地域保健対策を推進するため、市町村等の職員に対する研修を実施し、関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 被災地におけるアルコール問題支援研修会の開催

開催日：平成25年8月27日

開催場所：福島県テクノアカデミー浜 101 教室

参加者：44人

内容：講義「被災地におけるアルコール問題への支援活動について」
グループ討議「相双地域でどのような支援が必要か」

(2) 新任期保健師研修会

開催日：平成25年9月11日、9月18日、11月13日

(3) 相双地区特定給食施設等講習会

開催日：平成25年10月10日

3 地域医療体験研修事業【所重点】

将来の地域医療の担い手を育成するため、地域医療に関心のある医学部生を対象にへき地診療所等の地域医療の現場視察や地域住民との交流などの体験の場を提供しました。(年2回実施)

■体験研修開催実績

| 実施日 | 概要 | 参加者数 |
|-----------------------|---|------|
| (夏期) H25. 8. 27～29 | ①地域医療の現場等の視察 川内村の復興状況及び国保診療所、 公立相馬総合病院 ②地域医療従事者等との懇談 ③地域住民との交流 南相馬市社会福祉協議会の借上サロン参加 ④視察 川内村天山文庫見学、津波被災地視察（南相馬市小高区、相馬市松川浦） | 6名 |
| (冬期) H26. 3. 6～7 | ①地域医療の現場等の視察 富岡町大玉仮設診療所、南相馬市立総合病院、 渡辺病院 ②地域医療従事者等との懇談 ③視察、体験 津波被災地視察（南相馬市小高区） 和田観光いちご園、南相馬博物館 | 4名 |

(3) 民間団体への支援

1 民生委員及び児童委員諸活動支援事業

民間奉仕者である民生委員及び児童委員の活動の支援を通して、社会福祉の増進を図るため、民生委員及び児童委員の選任手続や民生委員協議会への負担金の交付等を行いました。

- (1) 民生委員に対する報償費
対象者数：703人
- (2) 児童委員に対する報償費
対象者数：703人
- (3) 民生委員協議会に対する負担金
対象協議会数：26件

■ 民生・児童委員の状況（平成26年4月1日現在）

| 市町村名 | 定数 (うち主任児童委員) | 現数 (うち主任児童委員) | 性別 | | 民生委員協議会 | | | |
|------|------------------|------------------|-----|-----|--------------|--------|----------------|------------------------|
| | | | 男 | 女 | 名称 | 会長 | 事務局（電話番号） | |
| 広野町 | 15 (2) | 15 (2) | 7 | 8 | 広野町民生委員協議会 | 佐藤 功 | 広野町 (町民課) | 0240-47-2115 |
| 檜葉町 | 22 (2) | 22 (2) | 3 | 19 | 檜葉町民生児童委員協議会 | 松本 宏美 | 檜葉町社会 福祉協議会 | (仮事務所) 0242-55-0177 |
| 富岡町 | 34 (2) | 33 (2) | 14 | 19 | 富岡町民生委員協議会 | 三瓶 俊彦 | 富岡町社会 福祉協議会 | (仮事務所) 024-935-3345 |
| 川内村 | 14 (2) | 13 (2) | 5 | 8 | 川内村民生委員協議会 | 遠藤 敏子 | 川内村社会 福祉協議会 | 0240-38-3802 |
| 大熊町 | 27 (2) | 27 (2) | 6 | 21 | 大熊町民生児童委員協議会 | 根本 友子 | 大熊町社会 福祉協議会 | (仮事務所) 0242-29-5760 |
| 双葉町 | 21 (2) | 19 (2) | 5 | 14 | 双葉町民生児童委員協議会 | 羽根田 信 | 双葉町社会 福祉協議会 | (仮事務所) 0480-70-0057 |
| 浪江町 | 59 (3) | 59 (3) | 17 | 42 | 浪江町民生委員協議会 | 田村 友正 | 浪江町社会 福祉協議会 | (仮事務所) 0243-62-0877 |
| 葛尾村 | 10 (2) | 10 (2) | 5 | 5 | 葛尾村民生児童委員協議会 | 東海林 憲一 | 葛尾村社会 福祉協議会 | (仮事務所) 0247-62-8687 |
| 新地町 | 26 (2) | 26 (2) | 6 | 20 | 新地町民生児童委員協議会 | 佐々木 敏則 | 新地町社会 福祉協議会 | 0244-62-4213 |
| 飯館村 | 30 (2) | 29 (2) | 12 | 17 | 飯館村民生児童委員協議会 | 松原 光年 | 飯館村社会 福祉協議会 | (仮事務所) 024-562-3622 |
| 郡部計 | 258 (21) | 253 (20) | 80 | 173 | 郡部計 | 10民協 | | |
| 相馬市 | 86 (18) | 86 (18) | 31 | 55 | 相馬市 | 9民協 | | |
| 南相馬市 | 171 (15) | 162 (14) | 51 | 111 | 南相馬市 | 7民協 | | |
| 市部計 | 257 (33) | 248 (32) | 82 | 166 | 市部計 | 16民協 | | |
| 合計 | 515 (54) | 501 (52) | 162 | 339 | 合計 | 26民協 | | |

(4) 社会福祉法人の認可、法人・施設の適正な運営の確保

1 社会福祉法人指導事務

社会福祉法人・施設の適正な運営を確保するため、社会福祉法に基づく認可等事務を行いました。

変更認可件数：5件

法人に対する運営指導：なし（本庁福祉監査課計画による）

2 社会福祉法人監督事務

社会福祉事業の健全な経営と公正な運営を確保するため、社会福祉法人に対する指導監査を実施しました。

また、社会福祉法人に関する定款の認可等事務が平成25年4月に市に移譲されたことから、技術的助言を行いました。

■社会福祉法人監査の実績

| | 対象数 | 実施数 | 備考 |
|---------------------|-----|-----|------------------|
| 施設経営法人 | 10 | 4 | 本庁福祉監査課主催 |
| 社会福祉法人 (保育所のみ経営) | 2 | 1 | |
| 町村社会福祉協議会 | 10 | 6 | 本庁福祉監査課実施分4法人含む。 |
| 合計 | 22 | 11 | |

(5) 生活保護の適正実施

1 行旅死亡人取扱負担金

行旅病人及び行旅死亡人の医療、葬祭等に要した費用について、遺留金品や扶養義務者等により弁償されない場合に、市町村が負担した費用について、必要経費を審査し、実施機関である市町村へ交付しました。

交付件数：3件

(6) 援護事業の推進

1 戦傷病者特別援護法に基づく援護業務

戦傷病者特別援護法に基づき、戦傷病者乗車券類引換証の交付等に関する事務を行いました。

(1) 引換証の交付

交付件数：22件

(2) 引換証一覧表の整理（四半期毎に報告）